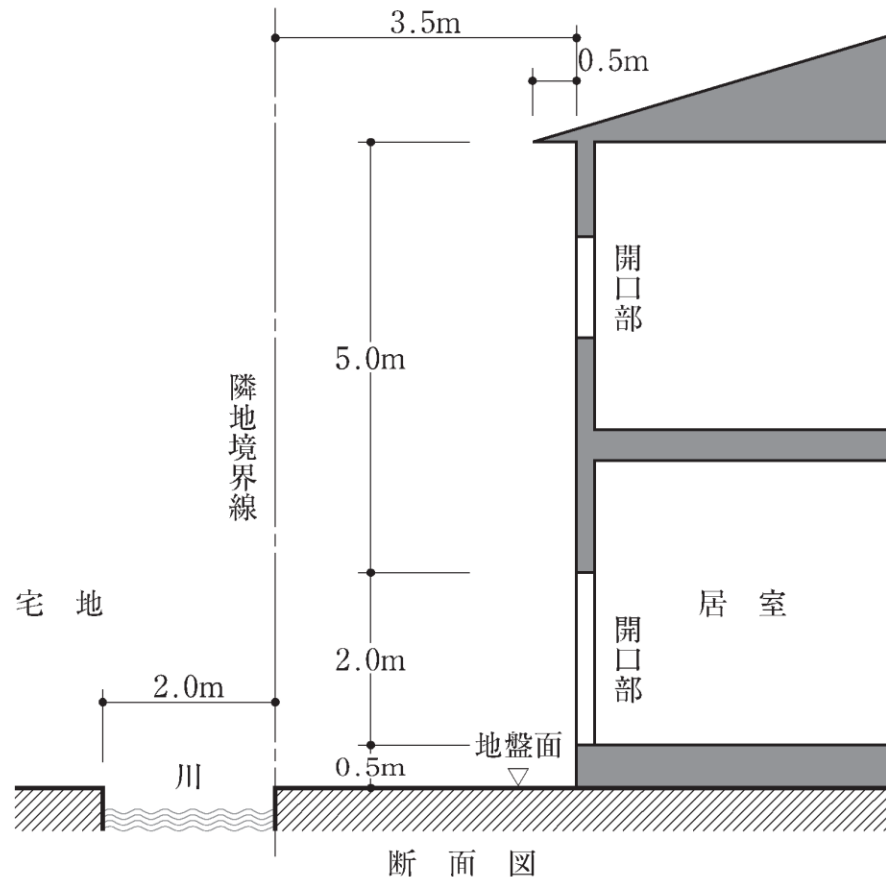


2級建築士 学科II 「法規」 令和6年 問題No.5 解説

〔N o. 5〕 第一種住居地域内において、図のような断面を有する住宅の1階の居室の開口部（幅 2.0 m、面積4.0m²）の「採光に有効な部分の面積」として、建築基準法上、正しいものは、次のうち どれか。ただし、図に記載されていないことについては、考慮しないものとする。

1. 2.4m² 2. 6.4m² 3. 10.4m² 4. 12.0m² 5. 14.4m²



採光必要面積(令19条) ≤ 採光有効面積(令20条)

床面積 × (1/5～1/10) ≤ 窓面積 × 採光補正係数

採光補正係数(令20条2項一号～三号) max3.0

一号 住居系 $D/H \times 6.0 - 1.4$

二号 工業系 $D/H \times 8.0 - 1.0$

三号 商業系 $D/H \times 10.0 - 1.0$

$H=6.0\text{m}$

$D=4.0\text{m}$

$4/6 \times 6.0 - 1.4 = 2.6$

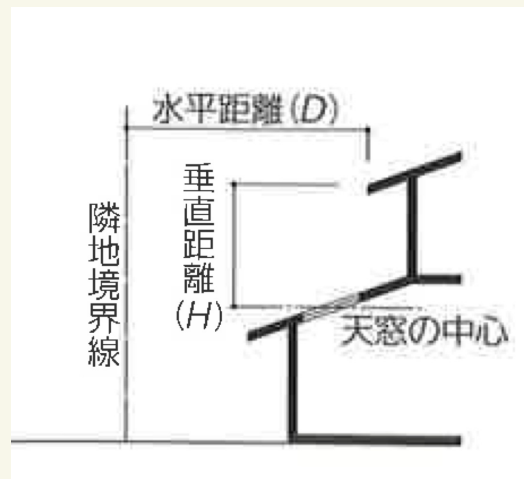
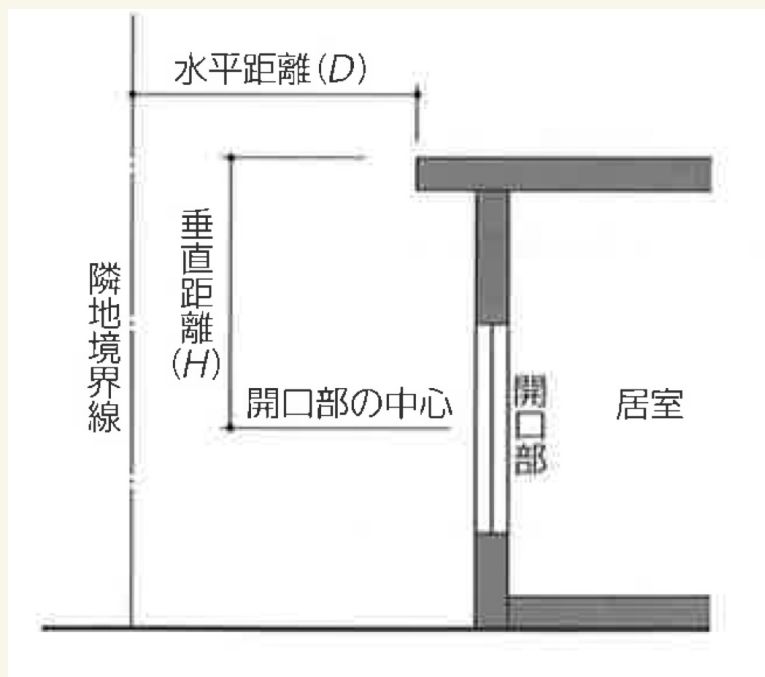
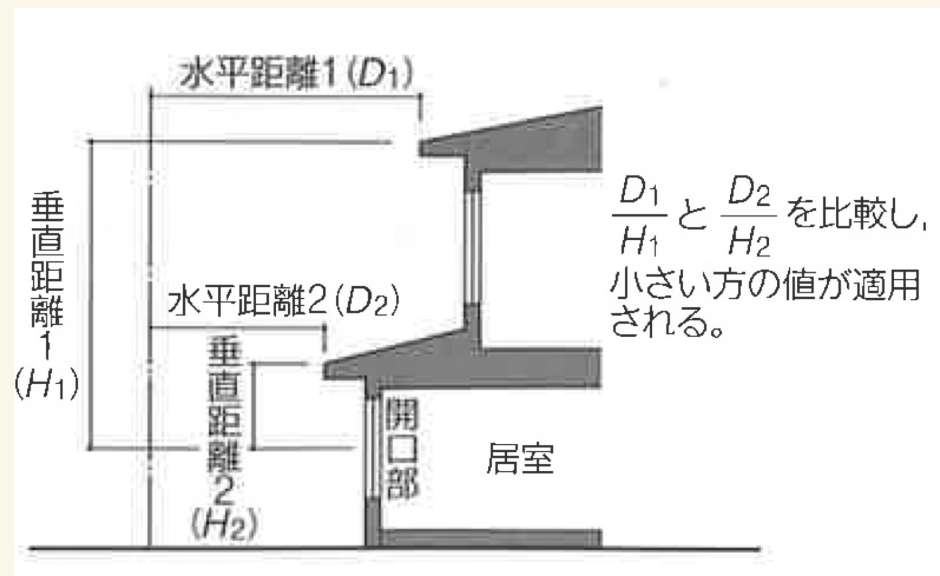
$4.0\text{m}^2 \times 2.6 = 10.4\text{m}^2$

採光必要面積(令19条) ≤ 採光有効面積(令20条)

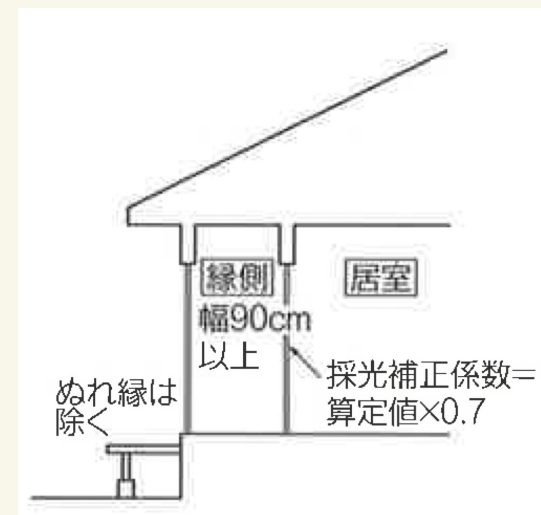
床面積 × (1/5~1/10) ≤ 窓面積 × 採光補正係数

採光補正係数(令20条2項一号~三号) max3.0

一号	住居系	$D/H \times 6.0 - 1.4$
二号	工業系	$D/H \times 8.0 - 1.0$
三号	商業系	$D/H \times 10.0 - 1.0$



天窗の場合の採光補正係数は、計算値の3倍



幅90cm以上の縁側がある場合の採光補正係数は、計算値の0.7倍